

生命が ある



1991年、ラジブ・ガンジー首相暗殺。
その実話に基づいたエピソード。
テロリストとして育てられた少女の物語。

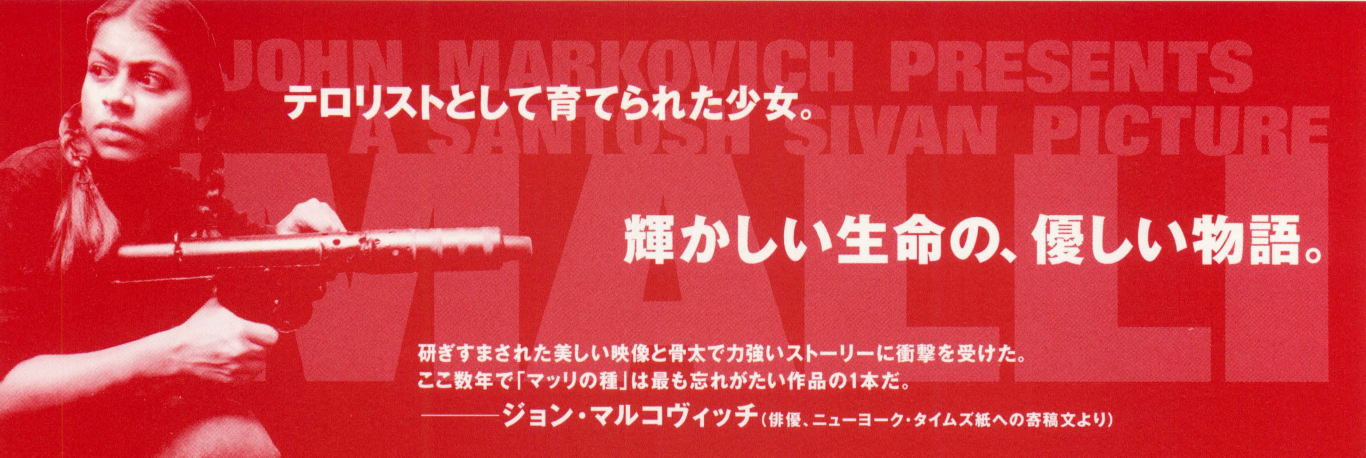
JOHN MARKOVICH PRESENTS
A SANTOSH SIVAN PICTURE

MALL

マッリの種

ジョン・マルコヴィッチ提供 サントーシュ・シヴァン監督作品 主演：アイシャー・ダルカール

カイロ国際映画祭、サンダンス映画祭、サンフランシスコ国際映画祭、バリ映画祭、ロンドン映画祭、他多数受賞／米国ゴールデン・サテライト賞、米国インディペンデント・スピリット賞／ミネート
製作：モダン・ギャラリー・モーションピクチャーズ&ワンダー・フィル／共同製作：インディアン・イメーシ・プロダクションズ／原案・撮影・監督：サントーシュ・シヴァン／脚本：サントーシュ・シヴァン、ラヴィ・デーシュバンデー、ウィジャイ・デーヴェーシュウル
音楽：ソーム・シシュパール、ラージャマニ／プロデューサー：シュリー・ブラサード、ジット・ジョーシ 配給：キングレコード、ギャガ・コミュニケーションズ、セアリスエンタープライズ



テロリストとして育てられた少女。

輝かしい生命の、優しい物語。

研ぎすまされた美しい映像と骨太で力強いストーリーに衝撃を受けた。
ここ数年で「マッリの種」は最も忘れがたい作品の1本だ。

——ジョン・マルコヴィッチ (俳優、ニューヨーク・タイムズ紙への寄稿文より)

マッリの種

ジョン・マルコヴィッチ 提供 サントーシュ・シヴァン 監督作品 主演: アイシャー・ダルカル

インド/1998年/カラー/ヒスタサイズ/タミル語/99分/原題英訳: MALLI/英題: THE TERRORIST

配給: キングレコード、ギャガ・コミュニケーションズ、セアリスエンタープライズ/宣伝: オムロ www.kingrecords.co.jp www.gaga.co.jp www.1.sphere.ne.jp/there-s/

TWO THUMBS WAY UP! - ROGER EVERT

映画史上もっとも美しい映像をもつインド映画。——デヴィッド・オーバベイ(トロント国際映画祭)

注目! シヴァンは現実の日常世界を見事に表現する。

この世でもっとも美しいものから救いようのない悲しみまでを描く。——A.O.スコット(ニューヨーク・タイムズ紙)

最高! 大満足! 新聞の見出しでしか目にしない無名のテロリストたちのことを考えずにはいられなくなる。——ロジャー・エバート(ロジャー・エバート&ザムビー)

見事な映像美。病みつきになる! ——ジョナサン・フォアマン(ニューヨーク・ポスト紙)

類を見ない作品。数々のシンボル—水の音、涙、ふれあい、花咲く木々—がみごとに響きあって、

人間爆弾として短い生涯の終焉に向かって突き進むヒロインの心情を表現する。——アンドレア・アルスバーク(サンダンス映画祭)

何度見ても驚くべき作品。思わず引き込まれるストーリー、すばらしい映像と演技。——ケネス・トゥーラン(ロサンゼルス・タイムズ紙)

本作はちいさな大作、あるいは奇跡だ。ぜいたくで美しく申し分ない。シヴァンは映像詩人、真の詩人だ。——ミック・ラセル(サンフランシスコ・クロニクル紙)

カメラはしなやかに動き回り、ときおり風景やフラッシュバックが挿入される。麗麗な効果音とヒロインの呼吸音とあいまって、

まるで映画が、殺人機械と化した少女の心の中に入り込んだかのようなのである。これまで見たなかでもっともすばらしい作品。——ニューヨーク・プレス紙

THINKING BOMB - MALLI

マッリは19才。インド南部のゲリラキャンプ暮らし。命を犠牲にすることが名誉であり当然の責務とされる世界に生き、組織のためなら殺人すらいとわず実行する。マッリの家族はみな「ある理由」のために生命を捨てた。そして今、マッリは「VIP」を暗殺するための人間爆弾=頭脳をもった爆弾に指名された。仲間たちの賞賛と羨望を浴び、リーダーと昼食をともにする栄誉にあずかった。マッリは、この暗殺任務を遂行するために準備をし、実行場所へと移動を開始する。マッリをガイドしてくれた地雷に怯える少年ロータス、身分をいつわって投宿した農家のヴァース老人と寝たきりの妻、慈しむものを失うこと、種を植え育てること...はじめて知ったふつうの生活だった。人生には迷いや混乱があることを知った。生まれてはじめて、感情を揺さぶられ、考える時間が与えられ、マッリの心は確実に変わっていく。テロリストとして揺るがぬ信念をもったマッリが、生まれてはじめて自らの意志で選択した未来とは...

SANTOSH SIVAN'S FIRST FEATURE FILM

本作は、1991年の少女の自爆テロによるラジャ・ガンジー首相暗殺のエピソードに基づき、また同年の湾岸戦争をきっかけに作られたという。監督は、インド・アカデミー賞受賞9回をほこる高名な撮影監督サントーシュ・シヴァン(「インディア」「ボンベイ」新作「Ashoka the Great」)。シヴァンは初監督にあたって、自由がありメッセージが込められる低予算映画を選択した。製作費5万米ドル。撮影3週間足らず。自然光と本物の雨を使ったオールロケ。スタッフ・キャストはオール・アマチュア。

JOHN MARKOVICH PRESENTS

1998年11月、ジョン・マルコヴィッチは審査委員長をつとめたカイロ国際映画祭で本作と出会い、そのすばらしい映像美と強く訴える力をもったストーリーに感銘を受けた。金がすべてを汚れた映画業界にうんざりしていたマルコヴィッチは、自らパトロンとなってこの作品を世界に紹介しようと決意した。米国公開は2000年。同年のミニシアター系ヒット作となった。1月14日金曜日初日。マンハッタンのだウナタウンで1週間の限定公開を予定していた本作は、連日各回すべて満席で入場制限をしたものの、あらゆる記録を塗り替え、公開週末1/14(金)~1/17(月)だけでおよそ1万3600ドル、公開1週間で2万ドルの興収をあげて後、全米各都市で公開、熱狂的支持を受けた。



6月29日(土)~7月12日(金)
衝撃のロードショー

◇前売券¥1,500(当日:一般¥1,800・大高¥1,500のところ)好評発売中!!

◆劇場窓口にて前売券をお買い求めの方にポストカードをプレゼント!!(先着100名様)

◆6/29(土)・6/30(日)・7/6(土)・7/7(日)先着各20名様にサカタのタネをプレゼント!!

地下鉄動物園前5出口・フェスティバル・ゲート7F
動物園前 シネフェスタ4
☎06(6647)7188 <http://www.cinefesta.com>
各回入替 11:00 2:50 4:50 6:50

